はじめての
せかいの　いじん

ナイチンゲール

1 ナイチンゲールは
ちいさいころから、
びょうきの　ひとや
こまっている　ひとを
たすけたいと
おもっていました。



2 おとなになると、
かんごの　べんきょうを　し、
いろいろな　びょういんで
かんごの　しごとを
まなびました。



3 クリミアせんそうのとき、
たくさんの　けが人たちが
ひどい　かんきょうで
くるしんでいると　きき、
じぶんから　かけつけて
かんごを　しました。



4 よる　おそくに　ランプを　もって
びょうしつを　まわる　ナイチンゲールの
すがたは、
「ランプの　おんな」と
よばれました。



5 びょういんの　そうじや、
せいけつを　たもつこと、
りょうりや　かんごの
やりかたを　かえ、
たくさんの　いのちを
すくいました。



6 ナイチンゲールは、
せかいの　かんごの　ありかたを
かえ、いまも　たくさんの
かんごしさんに
えいきょうを　あたえつづける
すばらしい　ひとです。



★ ナイチンゲールの　すごいところ！ ★

やさしい　こころで　ひとを　たすけたよ！

びょうきの　ひとや
こまっている　ひとを
じぶんから　たすけたよ。



かんさつして　かいぜんしたよ！

びょういんを　よく　みて、
より　よくなる　ほうほうを
かんがえたよ。



たくさんの　いのちを　まもったよ！

せいけつに　することや
かんごの　やりかたを　かえて、
いのちを　すくったよ。



きみも　かんがえてみよう！

だれかを　たすけたいと　おもったとき、
きみは　どんなことが　できるかな？